

-----1月23日-----

今週のアウトルック(1/23~1/27)

先週はEU諸国の国債入札に波乱がなかったことなどから、クロス円を中心に買い戻しが進みました。特にオージー円やポンド円などは大きく買い戻されましたが、ユーロ円は週末金曜日に幾分売りが進んでいます。そんな中、ドル円だけがカヤの外的な状況が続き、狭いレンジで終始しました。

今週もこの傾向が続くかどうかは焦点となりそうですが、ユーロについては再び下落する可能性も高いように思います。

ドル円は先週、76.7円から77.2円あたりまでの非常に狭いレンジ内の動きに留まりました。取り立てて新しい材料も見当たらないため、今週もこの傾向が続くのではないかと見ています。

ドル円の予想レンジは76.5円から77.5円です。

ユーロは先週、国債入札に波乱がなかったことを受け、買い戻しがだいぶ進みましたが、今週は買い戻しも一服、再び下落圧力が強くなるのではないかと見ています。ギリシャの動向も相変わらず難しい状況にあり、短期間で状況が大きく変わるようなことはないように思います。ショートポジションの清算が進めば、再び売り圧力が増す、という流れはしばらく変わらないようにも思います。また、ユーロドルの1.3、ユーロ円の100円というラインは、抵抗線として心理的に意識されやすく、ここを折り返しラインとする可能性も高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは98円から100円です。

ポンドは、金曜日のユーロ下落時にも上昇トレンドを崩していません。このことから考えればしばらく上昇トレンドが続くそうですが、月曜日の海外市場でユーロが下落した場合でもポンドが下落しなければ、ポンドの強さは本物と解釈した方が良いでしょうに思います。

ポンド円の予想レンジは119円から121円です。

今週もクロス円を中心に上昇傾向が続けば、しばらくは円安傾向が続くようにも思いますが、その可能性は3割程度ではないかと考えています。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。